

1. R4目的

「点検作業の効率化」 「点検結果のデータベース登録の効率化」

2. R4 実施内容

①現場試行

【概要】

施設：河川（水門設備、揚排水機場）
道路（道路排水設備）
件数：3技術、7業務、7事務所

試行技術会社名（3社）

- ・三菱電機
- ・IHIインフラ建設
- ・日立インダストリアルプロダクツ

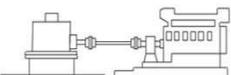


タブレットを用いた点検状況

②システム改修

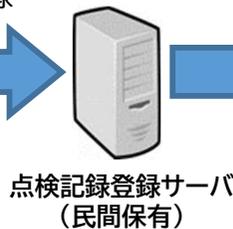
※「機械設備維持管理システム」は、国土交通省保有のデータベースで機械設備の維持管理データを蓄積・利用することで、効率的・効果的な維持管理を実現するために構築された。

【概要】 外部システム連携機能追加



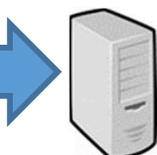
点検記録
データ

連携：点検記録登録サーバから
官保有システムに自動登録。



点検記録登録サーバ
(民間保有)

連携



※機械設備
維持管理システム
(官保有)



外部システムデータ登録確認画面

③現場見学会

【概要】

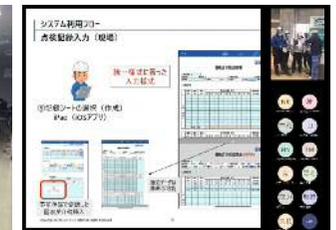
参加者：100名（対面19、Web81）
（受注者55、国45）

主な内容：試行技術紹介、実演
試行技術会社名（5社）

- ・三菱電機
- ・IHIインフラ建設
- ・日立インダストリアルプロダクツ
- ・クボタ環境エンジニアリング
- ・佐藤鉄工



試行技術紹介



Web参加



試行技術実演

3. R5 実施方針

「試行技術の拡大」 「対象業務・事務所の拡大」 「試行技術による業務内容改善」

目標

機械設備における「点検作業の効率化」、「点検結果のデータベース登録の効率化」する。

取組内容

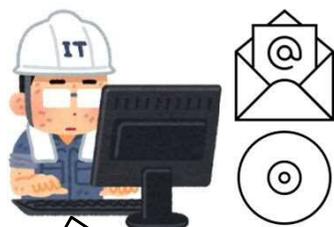
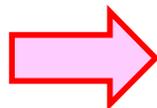
機械設備点検業務において、点検現場にてタブレット等を活用。
点検結果をその場でデータ化、更にはそのデータの維持管理データベースへの登録作業も効率化・省力化。

Before

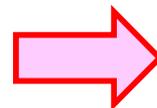
現地にて紙に点検結果を記録 → 帰社後パソコンに入力 → データ化した点検記録を監督員へ提出 → データベースへ登録。



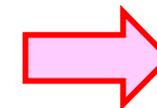
現地にて点検記録をメモ



帰社後デスクワークにて点検結果を入力



監督職員は記録受領・確認後、技術事務所へ送付、データベースへ登録



機械設備維持管理システム (官保有)

After

点検記録を現地からタブレット等でデータベースに登録



前回と違うぞ！

現地にて過去の点検結果の確認が迅速化でき、
速やかな施設状況の変化や誤入力防止が可能

点検記録の自動生成

項目	内容
点検日時	2023/10/27
点検場所	1号機
点検項目	油圧油位確認
結果	正常
担当者	田中

点検結果登録



点検記録登録サーバ (民間保有)

【導入効果】

- ①点検記録の転記、データベース登録にかかる**労務の削減**
- ②人の介在の減少による**ミス発生リスクの低減**
- ③監督員とのデータ共有が迅速化→**異常の速やかな共有**

点検結果自動登録



機械設備維持管理システム (官保有)